

ある町の 天気相談所

Vol.72

2023.12.01

令和5年12月号



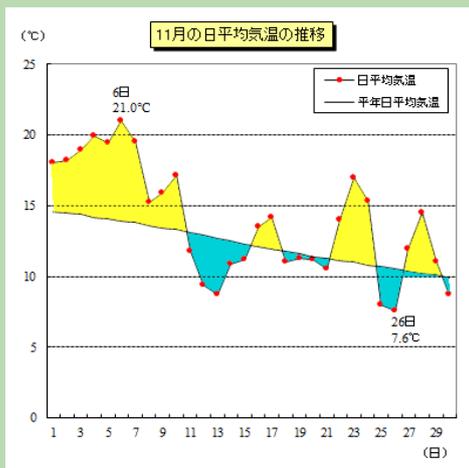
紅葉

11月上旬までは平年より高い日が多くなっていましたが、中旬以降は平年を下回る日も多くなり、山の木々の色づきも進んできました。山肌も様々な色合いになってきました。市役所屋上から見た、助川山方面（11月25日）です。



11月の気候

11月は、上旬には北日本を低気圧が進むことが多く、上旬の平均気温として最も高くなりました。中旬以降は冬型の気圧配置と高気圧に覆われる日が周期的に変化するようになりました。月平均気温は、13.8℃とかなり高く、11月として4番目に高い記録となりました。月合計降水量は78ミリと平年の105%と多く、日照時間は170.8時間と平年の107%となりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

中旬は低気圧や前線の影響を受けやすく、月全体として、寒気の影響は受けにくい。日照時間は少なく降水量は多めの予想です。平均気温は「高い」、降水量は「多い」、日照時間は、「平年並みか少ない」見込みです。

冬

12月になると、冬日や雪が降る日が出てきます。過去の観測から現象が現れる日を調べてみました。

冬日

最低気温が0℃未満の日のことで、市役所観測所では平年で39日ほどあります。1月が15・4日、2月が13日と多くなっております。12月と3月は5日程度となります。平年では12月17日が冬日の初日ですが、最も早い時では11月26日（1973年）に観測したときもあります。一方終日は、平年では3月21日ですが、最も遅い時で4月14日（1987年）です。なお、山沿いの西部支所では、2022年には年間で95日あり、今年も11月19日に冬日を観測しています。

真冬日

最高気温が0℃未満の日のことで、市役所では今年の1月25日に観測された1日しかありません。山間部では数年に一度程度観測されています。

雪

市役所での初雪は平年では12月26日頃になっています。最近30年間でもっとも早い初雪は11月22日（2007年）です。雪が降った最も遅い日は4月8日（2015年）。1センチ以上の積雪で、最も早いのは、12月9日（2002年）という記録があります。最も遅い積雪は4月1日（1984年と1998年）です。



天気用語の基礎知識

なだれ・融雪注意報

なだれによる災害、具体的には山などの斜面に積もった雪が崩落することによる人や建物被害が発生するおそれがあると予想したときに、なだれ注意報。融雪による災害、具体的には、積雪が融解することによる土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに、融雪注意報が発表される。冬においても積雪が続くことはあまりないため、日立市においては、警報注意報が市町村単位で発表されるようになった2010年（平成22年）以降、発表されたことはない。

・・・神峰の山から・・・

1年を振り返るような時期になりました。今年は、日立の気象関係では観測開始以来の極値の更新が多くあり、様々な事がありました。個人的にも新たな発見や経験がありました。天気相談所を見学される機会も増え、天気相談もいろいろなものがありました。今までなかったものとして、高校生が気象観測結果を用いて、空の様子を推定してみようという研究もありました。若い人たちの、新たな視点から、天気相談所が活用されていくと面白いと思いました。

忙しいときは感じませんが、振り返るとあつという間という感覚です。